ユリ科 カタクリ属

山野に群生する多年草。春植物。

花期は4月~5月。径4~5㎝の花を一個、花茎の頂点につけ、下向きに開く。花被片は6枚、紅紫色、内側の基部近くに黒紫色のW字型の班紋がある。花茎は高さ $10\sim20$ ㎝。

葉身は長楕円形〜狭卵形で長さ6〜12㎝。黄緑色で暗紫色の斑紋がある。花茎の下部に葉を2枚つける。長い柄があるが地下に埋まるため、地上には葉身だけが現れる。花をつけないものは葉1枚。

そう果は円く、深い3稜形になる。

鱗茎は筒状長楕円形で長さ5~6cm。

花は下向きにつける





2019/3/19

そう果は深い3稜形がある







2018/3/27

花の基部近くに黒紫色のW字型の班紋



2018/3/27

イチリンソウ

キンポウゲ科 イチリンソウ属

落葉広葉樹林の林縁や林床、草原にはえる多年草。春植物。

花期は4月~5月。径4cmくらいの花を一個、花茎の頂点につける。花弁のようにみえる萼片は5~6枚で白色、裏側はわずかに紅色を帯びる。花茎は高さ20~30cm。茎葉は3枚が輪生し、多少鞘状に広がった葉柄がある。3出複葉で小葉は羽状に深く裂ける。

根茎は横にはい、やや多肉質で白色。根出葉は1~2回3出複葉で花茎はない。 そう果は多数、狭卵形で細毛がある。

花茎



萼片は5~6枚



茨城県:準絶滅危惧種

2018/4/17 2018/4/23

根出葉



2022/3/28

多年草

キクザキイチゲ

キンポウゲ科 イチリンソウ属

落葉広葉樹林の林縁や林床、草原にはえる多年草。春植物。

花期は3月~5月。径3cmくらいの花を一個、花茎の頂点に上向きにつける。花弁のようにみえる萼片は8~13枚で淡紫色または白色。葯は白色。花茎は高さ10~30cm。茎葉は3枚が輪生し、鞘状に広がった葉柄がある。3出複葉で小葉は羽状に深く裂ける。

根茎は横にはい、太さは一様。根出葉は2回3出複葉で花茎はない。 そう果は多数、卵形で細毛がある。

白花



2018/3/27

萼片は8~13枚



2022/3/1

茎葉は3枚が輪生し、葉柄は鞘状に広がる



2022/3/28

淡紫花



茨城県:準絶滅危惧種

2019/3/19

そう果には細毛がある



2022/3/28

根出葉は2回3出複葉、葉柄は広がらない



2022/3/28

茨城県:準絶滅危惧種

落葉広葉樹林の林縁や林床、草原にはえる多年草。春植物。 花期は3月~5月。径2~3㎝くらいの花を一個、花茎の頂点につける。花弁のようにみえる萼片は8~13枚、白色で裏面はやや紫色を帯びる。花茎は高さ15~20㎝、長軟毛 があるが落ちやすい。茎葉は3枚が輪生し、葉柄の基部は広がらない。3出複葉で小葉は鋸 歯はあっても深く切れ込むことはない。茎や葉は全体的に青白色を帯び、キクザキイチゲよ り柔らかいため、花は少し垂れ気味になる。

根茎は横にはい、所々に紡錘形のふくらみがある。根出葉は2回3出複葉で小葉は3出状 に分裂し、花茎はない。

萼片は8~13枚

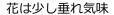
茎葉は3枚が輪生し、葉柄の基部は広がらない





2021/3/1

2022/3/28



花は少し垂れ気味





2021/3/1

2021/3/1



アズマイチゲとカタクリ





2021/3/1 2018/3/27

キンポウゲ科 イチリンソウ属

落葉広葉樹林の林縁や林床、草原にはえる多年草。春植物。

花期は3月~5月。花は径2㎝くらいで、花弁のようにみえる萼片は5~7枚、白色で裏面はやや紅色を帯びる。花茎は高さ12~30㎝。茎葉は3枚が輪生し、無柄で深く欠刻する。中心から長い花柄を1~4本出し、花茎の頂点に花を1個つける。

根茎は横又は斜めになり、やや太く、あまり長くならない。先端に数枚の根出葉と1~3本の花茎を束生する。根出葉は柄が長く、葉身は基部まで深く3裂または5裂、さらに裂片が深く切れ込み、葉面には淡白色の小斑点がある。

そう果は数数、楕円形で細毛を密生する。





2018/4/16

2018/3/26

茎葉は3枚が輪生し、無柄で深く欠刻する。



花の裏面はやや紅色を帯びる。



2018/3/26

2018/3/26

ユリ科 ネギ属

山野にはえる多年草。

花期は4月~5月。高さ5~10㎝の細い花茎の頂点に上向きに1~数個、44~5㎜の花をつける。白色または微紅色。雌雄異株で、雄花は少ない。

葉は線形。長さ10~20㎝、幅3~8㎜、断面は三日月型でやわらかい。1~2個が根出状に出る。

鱗茎は卵形で約1cm。

結実しない。



ジロボウエンゴサク

ケシ科 キケマン属

山野にはえる多年草。

花期は4月~5月。花茎は1球から数本ずつ出て、高さ10~20cm。花序は少数の花をつけ、紅紫色~青紫色、まれに白色で、長さ12~22mm。苞葉に切れ込みがない。 柄のある葉を2枚つける。小葉は2~3深裂し、裂片は長さ1~2cm、幅3~7mm。 根出葉は塊茎の頂端に少数ついて、2~3回3出複葉、長い柄がある。 そう果は線形、長さ15~22mmで、微細突起のある径約1.2mmの種子が数個ある。

花序は少数の花をつける



2018/4/17

そう果は線形



2018/4/23

苞葉が切れ込まない



2018/4/17

根出葉



2022/3/1

ミヤマエンゴサク

ケシ科 キケマン属

林の中にはえる多年草。

花期は4月~5月。花茎は1球から数本ずつ出て、高さ10~20cm。花序は少数~多数の花をつけ、淡紫色~淡紅紫色、長さ15~25cm。 苞葉は多少の切れ込みがある。

柄のある葉を2~3枚つける。小葉は細く、分裂しないもの、丸いもの、深く切れ込むものなど株ごとに違う。

根出葉は塊茎の頂端に少数ついて、2~3回3出複葉、長い柄がある。

そう果は広被針形〜狭卵形、長さ7〜13mm、幅2.5〜4mmで、種子はなめらかで、黒く光る。

苞葉が切れ込む





2018/4/3 2018/4/3



2018/4/3



ムラサキケマン

ケシ科 キケマン属

平地や山麓の日陰のやや湿ったところに生える越年草。

花期は4月~6月。やわらかくて、毛がない。高さ20~50cm。花序直立し、長さ4~12 cm、やや密に花がつく。花は紅紫色、ときに白色または一部白色になり、長さ12~18mmの筒状で先は唇形となる。

葉には葉柄があり、2回3出複葉で長さ3~8cm。小葉は3出状~羽状に分裂し、ややくさび形で欠刻がある。

そう果は線状長楕円形でやや幅が広く、長さ $15 \,\mathrm{mm}$ 、幅 $3 \sim 3.5 \,\mathrm{mm}$ 、傾いてぶら下がる。

花を茎の上部にやや密につける





2018/4/17

2018/4/17

そう果は線状長楕円形でぶら下がる



2018/5/1

茨城県:絶滅危惧 I A類

やや寒い地方の山野にはえる多年草。

花期は4月~5月。高さ $15\sim25$ cmの細い花茎の頂点に、 $4\sim10$ 個の花が散形状につく。花柄の長さは不規則で $1\sim5$ cm。花被片上向きに $1\sim$ 数個、径 $4\sim5$ mmの花をつける。花被片は黄色、花柄の長さは不規則で $1\sim5$ cm。

そう果は円く、やや梂状深で3稜があり、長さ7mm。

葉は線形。長さ $10\sim30$ cm。花茎は、幅 $3\sim8$ mm、断面は三日月型でやわらかい。

黄色い花が4~10個つく。



草丈15~25cm。



2021/3/1 2022/3/28



2022/3/22



2021/3/1

そう果は3稜がある



2022/3/28





2022/3/28





2021/3/1



2021/3/1



2021/3/1

